

学校版 環境行動計画書の作成について

「環境行動計画書」とは、これまでの環境への負荷と環境保全活動の取組状況についてチェックし、その結果をもとに、これからの取組目標や具体的な取組内容などをまとめるものです。別添の「環境行動計画書（例）」や、以下の説明を参考に作成してください。

なお、あくまで別添で示すものは計画書の一例であり、例に示された順序、分量、書式などにとらわれる必要はありません。

（１）学校の概要

○以下の内容を簡潔に記述してください。

- ・学校の名称及び校長名
- ・所在地
- ・学校の概要（児童・生徒数、教職員数、クラス数など）
- ・環境保全関係の責任者及び担当者、連絡先

（２）環境負荷の概要

○前年度1年分の環境負荷の状況を数値で明確にしてください。

- ・「前年度1年分」の記載が不可であり、それに代わる期間の負荷量を記載する場合、その期間について明記しておいてください。（平成〇〇年度、〇月～〇月、など）

○認定を受けるためには、下記3点について把握しておくことが必要です。

- ・二酸化炭素排出量（電力使用量や灯油使用量などから算出）
- ・廃棄物等排出量（燃えるごみなど）
- ・資源利用量（水道使用量やコピー用紙使用量）

- ・電気、ガス、水道使用量などは前年度領収書などが参考になるかと思います。
- ・コピー用紙なら「枚数」、ゴミなら「袋の数」などの数値で計測する方法もあります。
- ・その他については、可能な限りで把握できる負荷数値を記入してください。
→ゴミの排出量などが特に「昨年度未計測のため総量がわからない」ことが多いと思われます。その場合も、とりあえず前年度実績数値は空欄にしておき、「今年度以降計測を始める」など、今後の数値把握に努める旨記載していただければかまいません。

○別添「環境行動計画書（例）」で示した表はあくまで例示ですので、記載してある項目すべてについて数値を出さなければならないわけではありません。

○分かる範囲で過去数年分を記載し、経年的な増減を把握しておくのもよい方法です。

○総量のみではなく、1人あたりや1クラスあたりなどの単位を用いてもよいです。

(3) 行動の宣言及び環境負荷低減等の目標

○「環境負荷の概要」で把握した負荷の現状をもとに、重点的に取り組む内容を記載してください。

- ・「環境負荷値を前年度比○パーセント削減」等がわかりやすいかと思えます。別添「環境行動計画書（例）」のように削減目標数値の一覧表を作成するとわかりやすいです。

(4) 環境保全に向けた具体的な活動

○「(3) 行動の宣言及び環境負荷低減等の目標」で示した目標値を達成するための具体的な活動内容を記載してください。

- ・記載方法は任意です。必ずしも例示のように項目別にする必要はありません。

◎県では平成24年度より、「省エネ・節電アクションプラン」を推進しております。「具体的な活動」について記入する際は別添の資料も併せてご参照ください。

(5) 環境行動計画の実施体制

○計画にそって環境保全活動を推進するにあたり、誰が何を行うのかを明確にしておく必要があります。

- ・「環境行動計画書（例）」での例示を参考にしてください。